

# 議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

No. **177**  
2016.2.25



八丈町議会議員島内視察（大賀郷浄水場）  
平成27年10月15日

航空運賃をともに考えるシンポジウム  
平成27年12月9日

## 第4回八丈町議会定例会

平成27年12月1、2、3日開催

### 目次

- 山下町政2期目がスタート ..... 2P
- 一般質問 ..... 3P
- 定例会の質疑から ..... 10P
- 「航空運賃をともに考えるシンポジウム」 ..... 11P  
をを終えて

# 第4回八丈町定例会

(平成27年12月1、2、3日開催)

## 山下町政2期目がスタート

### 厳しい財政にどう立ち向かう

本定例会では平成27年度の補正予算の他、26年度決算の審議を行いました。26年度一般会計および特別会計の歳入総額は100億6669万円、歳出総額は102億6627万4千円で、収支は赤字、実質公債比率も微増となっています。

庁舎の維持管理費など削減できるものは削減しなければなりません。将来に対する投資は必要となります。農業と教育施策の連携や、外貨を稼げるインバウンドを初めとした観光施策についてはより一層の充実が求められます。

国の様々な制度改革の中で地域だけではどうにもならない課題もあります。八丈町の置かれた厳しい状況を乗り越えていかなければなりません。決算審査意見書のむすびには「町職員は、課、係で統一した目標を持ち、それに向かって全員で進むよう心がけてもらいたい」とあります。人財育成の充実とともに、戦略をもった施策が今こそ必要です。

一 昨年の改選から早一年経ちました。今号では新議員5名の就任1年後の所感を紹介いたします。

一番 沖山 恵子



複雑な町の予算書の数字を読み解き、事業の流れを理解するのには精一杯の一年でした。

そして予算の少ない町では、観光や福祉の発展には国や都の補助金が不可欠と理解しました。今後は自分で補助金を探し、この事業をやるうと提案できるように頑張ります。



二番 浅沼 憲春



この1年は、議員ならではの

貴重な体験をさせていただき、新鮮且つ深く重く考えさせられる事ばかりでした。2年目も町民の皆様と共に考え、ぶれずに行動してまいります。島の未来を考え、島に住んで良かったと思うような島造りに努力いたします。

三番 小川 一



町議会の一年、一般質問とい

う形で、温泉、町道関係は町執行部に質問しました。結果的には、前進すべきものは得られませんでしたが、何もやらないで諦めることなく、町側と十分話し合っ、できるものから一歩ずつという信念を変えず進んで行きたいと思

四番 山下 巧



町議員に選んでいただき、

島の行く末に関わる最高決議機関にあることを改めて認識しました。島民の生命と財産、安全と台所を預かる立場を痛感しました。深刻な財政難の中で皆が島に住んでよかった！と幸福を実感できるような八丈島を目指します。

五番 山本 忠志



「海が風ぎたら沖に出、空

が晴れたら土を掘る」38年の教職生活を終え、海と山を友としてスローライフの筈でしたが、予想もしない議員人生となりました。

皆さんの声を町に届けることに使命を感じた一年間でした。

皆さんの声を形にできるように全力を尽くします。



小中学校の理数教育の今後の展望と計画は

**答** 大学から講師を招くことや、大学に出向いての実習を計画している



山下 崇 議員

◆所要時間 28分

島の将来を展望した人材育成が求められている。これまで、職員の人材育成を中心に質問してきたが、島の将来を担う人材育成について、次のとおり質問する。

1 町が行う人材育成（小、中学校教育）  
 ①主に理数教育について質問してきたが、本年も科学賞受賞が相次いでいる。大学受験に非常に有利な活動で、今後町が行う活動としては最も大きな期待が寄せられる。

今後の展望と計画について伺う。

②教育課長 理数教育については、大学から講師を招く特別講座や、大学に出向いての実習を計画している。

③科学賞の受賞は誇るべき事であり、全国に発信すべきだ。展望と計画について具体的な数値目標を示してほしい。

④教育長 全島に広がってから胸を張りたい。民間の教育団体と連携を深め教育委員会主導で取り組みを広げたい。

⑤民間が行う人材育成（高校教育）  
 ⑥八丈高校の理数研究校指

定に代表される理数教育は一定の効果を上げている。民間で行っている活動としては、「サイエンスクラブ」「ハワイ・八丈リーダーシッププロジェクト」がある。

どちらも島のみならず、日本の将来のリーダーを育成する事業であると思うが、今後町としてどのように支援できるか。

⑦教育課長 サイエンスクラブは国立大学への進学など実績を残している。今後は更に参加が増えるよう支援していく。

ハワイ・八丈リーダーシッププロジェクトは2年生が2名、6ヶ月に及ぶ事前研修を経て、1週間のハワイ大学での実習を行った。今後は継続できるように、東京都にも働きかけていく。

⑧島の産業を担う人材育成  
 ⑨島内産業の6次産業化を  
 目指すとされているが、生物生産分野でどのような取り組みを行うのか。

⑩産業観光課長 農業、漁業の人材育成を主に考えている。新規就農者、生産者部会への支援を行う。生産品の安定供給を目指す。

⑪まず、6次産業とは何か。観光との連携はどう考えるか。生産品についてはどの程度加工を考えているか。

⑫産業観光課長 指導員の不足が考えられる。島出身者が大学で専門知識を学んで戻って来た場合、積極的に受け入れる。

⑬6次産業はかけ算と考える。1次産業が抜けると0になってしまう。

⑭東京農大の指定校推薦が決まっている。これは理数教育が進んでいるからこのような制度の適用となった。

⑮まさに6次産業の担い手を養成する制度であり、教育と産業を繋ぐ大きな制度である。

⑯観光とのつながりが触れられなかったが、もう一度伺う。

⑰産業観光課長 出来た物を観光PRで持って行き、観光とからめている。

⑱町長 現在成功している八丈フルーツレモンを6次産業化したい。また、柑橘類全般を使って、蜂蜜なども考えている。

⑲材料が豊富にある漁業は成功した。農業についてもまず十分な生産を上げて加工などにつなげていく。東京農大の2名の枠を最大限活用して新しいサイクルを目指す。



科学賞授賞式  
 平成27年12月24日

富士ゲートボール場の人工芝の張り替えを

答 来年度整備する計画である



浅沼 憲春 議員

◆ 所要時間 7分

平成2年に完成した富士ゲートボール場だが、既に完成してから25年経過しており、人工芝の老朽化による劣化が激しく、表面の緑の芝の部分が摩擦により剥がれ、一番下の黒いゴムが見え、黒い人工芝のゲートボール場となっている。黒い人工芝は見た目も悪く、表面は波打っており、ボールは真っ直ぐ転がらず、凹みの部分には雨水が溜まる等、ゲートボールをプレーするには大きな問題である。

島外からのチームも数多く来島しており、観光誘致を進めるのであれば、誘致にも影響を与えるものである。

来島者の増加を図るのであれば、必要不可欠な施設と考える。

固以前、教育課長は「スポーツや文化の各種イベントを通じた、島外者の招致と交流は町づくりの重要政策であると認識している」と発言している。また高齢者の健康増進も図られ、医療費の削減の一因にも繋がる事を視野に入れ、人工芝の張り替えを実施するよう、早急に取り組むべきではないか。

答 教育課長 人工芝の張り替えは、年度別事業計画の中で来年度整備する予定で

ゲートボール場の防風・日除け対策について

答 人工芝の整備に伴い検討する

あり、対応する考えである。

平成20年10月号の広報で、「自治振興委員・納税貯蓄組合長の集い」の意見交換会の中で、富士ゲートボール場について、ゲートボールは野外で行うスポーツであるため、日除けと防風に対する対策をお願いしたい、との質問に「ゲートボール場の周辺は大変風が強い場所、日除け施設も簡易的なものというわけにはいかない、どのような方法がよいのか検討する。また防風のための植樹も土地柄にあったものを植栽して対応していく」と回答している。

回答から既に7年経過しているが、植樹されたい樹木はあるが、防風・日除けとなるような大きな樹木や施設は見当たらぬ。

固どのような検討をし、どのような対応をしたのか。また今後どのようにゲートボール場を管理していくのか。

答 教育課長 平成21年7月にホンコンカポックを159本植栽したが、防風対策

として対応しておらず、今後人工芝の整備に伴いベンチシェルター等の整備ができないかどうかを考える。ご承知の通り風が強い場所、台風など強風時には野球場のベンチの屋根が破損しており、そうした事も配慮して対応したい。



人工芝の老朽化が激しい富士ゲートボール場



介護保険制度の見直しで、所得により2割負担となった影響は

答 対象者は約5%で影響は少ない



菊池 睦男 議員

◆所要時間 52分

平成27年の4月から介護保険制度が始まって以来の大幅な見直しが行われる。

主な改正点は、

- 要支援者のホームヘルプ
- デイサービスの保険外
- 利用者負担を所得によって「2割負担」にする
- 老人ホームの「食事・部屋代の負担増」等がある。

☎ 制度改正の施行部分と進捗状況は。

☎ 福祉健康課課長補佐

利用者2割負担変更は8月より実施し、対象者は

申請である。介護度が下がり、軽減化したケースは約70件である。

☎ 今迄、要支援2の人が要支援1に軽減化した人がいる。週2回のデイサービスを受けていたが、1回となり塞ぎ込んでいるという。お年寄りのサービスが低下するようない事があるではない。

☎ 要支援の方をどう支えていくのかが地域支援事業である。仮に状態が悪化したら再度、更新の申請はできる。

☎ 高齢者、介護事業者等現場の声や実情の把握は。

☎ サービス事業の縮小は、今のところなく、住民からの問い合わせも特に来っていない。

☎ 介護認定調査、更新手続の申請件数は。

☎ 要介護申請件数、認定調査件数は、年間600件あり、約400件は、更新

上がり続ける学費と新世代の所得減少などを背景に今や学生の半数が奨学金を借りている。学ぶ権利を保障し、若者の夢と希望を後押しするのは奨学金。し

給付型奨学金制度の導入はいつからか

答 平成28年度から実施

かしの多額の返済額と利子取り立ての厳しさで、若者の人生を狂わせる事態が起きている。無利子化や減免制度の実現が緊急に求められている。日本は世界でも異常な高学費の国でありながら、給付型奨学金はほとんど無い。

☎ 八丈町奨学金の貸与者は、創設以来何人いて、その貸与総額はいくらか。

☎ 教育課長 平成10年の創設以来、今年までで合計15件、2024万円の貸与総額である。

☎ 給付型奨学金の導入はいつで、枠は何人にするのか。

☎ 基幹産業の農業分野からスタートし、農業系大学を対象とし、卒業してから島の農業分野での後継者の育成を目指し、来年度から実施し、2〜3名を見込む。制度開始に当たっては、在校生も対象としたい。

☎ 平成28年から実施する事

は、非常にスピード感があって評価するが、農業後継者以外の事務職や公務員希望者についてはどうか。

☎ スタートは農業分野であるが、観光や公務員は今後の課題となる。

● こんな質問もしました  
町長選挙に当たっての選挙公約を公表すべき

☎ 選挙が行われなかったのに、住民は政策や公約を知る機会がなく、不満と不安を覚えている。活字媒体を使って公表するべきだと思うが。

☎ 広報はちじょう、新年の挨拶や来年度の施政方針で具体的な施策について述べていく。

☎ 地方創生の具体化は

☎ 総合戦略策定事業と来年度事業の予算化は。

☎ 総合戦略と人口ビジョンは3月に完成して、議会に提示する。来年度については、新型交付金や施策補助金を活用して予算化を図る。

宇喜多秀家を通しての姉妹交流を

答

トップ会談を開催し、今後の交流について話を進めていきたい



水野 佳子 議員

◆所要時間 15分

きだと考える。

今年は関ヶ原の戦いで敗れ、流人第一号として八丈島に流された秀家の没後360年にあたる。11月20日には、秀家の居宅跡で手作りの鎮魂祭が有志の手によって開催され、さわやかな感動を呼んだ。

毎年10月に榎立踊り保存会が岡山市を訪れて行う交流は、今年で4回目。その熱い思いに岡山市長より感謝状と記念品が贈られた。まだまだ民間の交流が中心だが、島の歴史、文化を次の世代に伝えるためにも町も積極的に関わっていくべ

園 戦国武将の秀家が亡くなるまでの50年間を過ごした縁の深いこの八丈島で秀家公ゆかりの岡山市、瀬戸内市、鹿児島県垂水市、そして流された後260年間にわたり八丈島へ物資を送り続けた豪姫の故郷、金沢市との交流を深めるために「宇喜多秀家サミット」を開催してはいかがか。観光誘致だけではなく、各都市と今後の絆を深めるためにも意義のあることと思うが、町の考えは。

園 総務課長 秀家公を通じて、町の活性化につなげていくことは必要と考える。「サミット」の開催については、各自自治体の事情もあるので、まず岡山市との交流からと考えている。

具体的には、秀家公居宅跡のソテツを岡山市に贈る予定があるので、その折に岡山市長と八丈町長とのトップ会談を開催し、姉妹交流も含め、今後の交流について話を進めていきたい。

パークゴルフ場の建設を

答 住民の理解を得ながら検討する

園 観光の低迷が深刻の中、来島者を増やすために住民と共に町もその対策を模索している。八丈島は羽田から飛行機で50分。自然豊かな宝の島である。しかし、その豊かな素材が活かされていないのが現状だ。サッカーや野球などスポーツ誘致も各団体を通じて積極的に行われ、少しずつ実を結んでいる。その中で暇とお金があるシニア世代を島に呼び込むことも大きな成果を出すことになると思う。今、シニア世代を中心に『パークゴルフ』が静かな

ブームになっている。全国に1000ヶ所以上のコースが作られており好評だ。

園 島の自然な景観を活かし、予算も少なく、誰もが楽しめるコースを作り、八丈町からもパークゴルフを全国に発信してはどうか。

園 産業観光課主幹 観光客が減少している中で、目的を持った体験型のツアーやスポーツ誘致は重要と考える。パークゴルフのコース整備については、住民の理解を得ながら検討していきたい。

八丈小島の歴史をどのように伝えるのか

答 歴史民俗資料館に小島コーナーを設置したい

最近では、クロアシアホウドリの産卵が期待されている八丈小島。わずか4kmしか離れていない無人の島だが、江戸時代には500人以上が生活していた歴史がある。時代の流れに逆らえず今から47年前、昭和44年に全国で始めて、全員移住を余儀なくされた。昨年11月2日に有志の方々によって「八丈小島 忘れじの碑」が南原に建立されたことは記憶に新しい。

史がある。時代の流れに逆らえず今から47年前、昭和44年に全国で始めて、全員移住を余儀なくされた。昨年11月2日に有志の方々によって「八丈小島 忘れじの碑」が南原に建立されたことは記憶に新しい。

園 豊かな時代だからこそ大人や島の子供達に故郷として八丈小島を忘れないでほしいと思うが、その歴史を町はどのように伝えていくか。

園 総務課長 「八丈小島忘れじの碑」は町制60周年の事業として行われ、NHKでも放映された。小島の歴史を伝えることは大切と考える。歴史民俗資料館の展示資料の整備の中で小島コーナー設置に向けて充実させていく。

八丈町防災対策と公助の課題は

**答**  
土砂災害、津波、噴火への対応を本格化させる



山本 忠志 議員

◆所要時間 42分

もちろん、町民の生命と財産を守るといふ公助の責任についても、全力で果たしていく。特に最近頻発している土砂災害、津波、噴火への対応を本格化させていく。

町から防災対策の冊子が配布されたが、台風対策がない。その訳は。

台風は数日前から情報が得られるのに対し、地震や土砂災害などは緊急性が高いため、そちらに主眼を置いた。今後は台風対策も入っていく。

11月19日の未明、集中豪雨のため全島に避難勧告が出されたが、その避難状況は。

避難所に避難したのは、

大賀郷公民館に3世帯7名。

停電時の坂上地区避難所への配電対策をどのように考えているか。

坂上地区の非常時の配電計画については、小中学校の体育館を視察し、都と相談しながら具体的に進めている。

八丈町の小・中学生の学力は

**答**  
年々向上してきている

全国及び東京都において小中学生を対象に「全国学力・学習状況調査」、「学力向上を図るための調査」がそれぞれ実施された。

八丈町の小・中学生の学力の現状と今後の対策について考えを伺いたい。

教育課長 学力は年々向上してきている。特に中学

生は都に引けを取らない結果であった。

しかし、学校間格差や年度ごとの差はあり、個別指導による成果の報告を受けている。各校のHPで取り組み状況をご覧いただきたい。

確かな学力をつけるために、先生方は全力でやっている。学習指導の工夫改善以前の問題として、例えば読書の習慣とか家庭、地域、行政支援などの諸課題を分析すべきではないか。

教育課長 4年前から、小規模校の利点を生かして、学力向上を目指してきた。最近はその成果が上がり、都を上回るようになった。しかし、学年差が大きく課題は多い。来年度は、進んで学習する児童の育成に向けて取り組んでいく。

介護保険料の急騰に対する丁寧な説明が必要であったのでは

**答**  
今後は高齢者の方にわかりやすく説明する

年金から天引きされている介護保険料が、6月に比べて8月は急激に上昇したため、高齢者から不安の声が上がっている。

その急騰に対する激変緩和措置、あるいは不安感を取り除くような丁寧な説明はできないか。

福祉健康課課長補佐 今年度は、介護給付費の調整の年であり、保険料の改訂が行われた。

年金から天引きされる方には通知を送ったが、その額については知らせておらず、説明が不十分であった。今後は、今回のことを教訓にして高齢者の方にわかりやすく説明する。

10月5日、大雨による災害を想定し、中之郷屋内運動場で八丈町防災訓練が実施された。緊迫感はなく、穏やかな訓練であった。有事の際に、これでいいのかと不安である。

町防の防災対策と防災訓練のあり方

町が果たすべき公助の責任について、町の考えは。

総務課長 「自分の身は自分で守る」「危ない時は逃げる」という自助の徹底が防災の基本と考える。

避難所に避難したのは、



年末調整や確定申告におけるマイナンバー利用はいつからか

答 平成29年1月以降提出分から



沖山 恵子 議員

◆所要時間 26分

八丈町でもマイナンバーの送付が始まったが、配送の状況はどうか、数多く返送されたりしていないか。9月議会で約束した対策は整ったか。

問 マイナンバー通知カードの配達状況と返送率は。

答 企画財政課長 11月18日から配達を開始し、11月26日現在全世帯の3・3%145世帯分が返送された。9割が宛所無しだった。

問 税金支払いの為、企業の

個人番号カードとは・・・

表面に氏名、住所、生年月日、性別、顔写真  
裏面にマイナンバー等が記載されICチップが搭載されたプラスチックのカードです！

個人番号カードは、  
・自分のマイナンバーを記載した書面を提出する場合  
・さまざまな本人確認の場面で利用することができるカードです。

内閣官房ホームページより

年末調整や個人の確定申告にナンバーが利用される予定だが、実施時期はいつからか。

問 28年分の申告書からと決まっており、29年1月以

降に提出するものからで良い。

問 職員に対するセキュリティ研修は、何人受講したか。全員の受講は難しいか。

答 9月30日に研修を実施し、47名が受講した。受けられなかった者には受講者が教えるように指示した。

問 住民票から情報漏えいした市区町村があるが、各出張所も含めた窓口でキチンと説明と交付が行われているか。

答 都から住民票交付マニュアルが配布され、出張所にも置いた。窓口で誤りのないよう対応している。通常はマイナンバーを省略したものを交付している。

問 情報送信は

専用回線を使い、インターネット経由の情報漏えいの心配はないと言ったが、自分のパソコンで書類を作り、専用のパソコンで管理する作業の流れだと、データが残り漏えいの危険がある。そのような事例はないか。

答 完全に分けて作業しており、適宜注意喚起もしている。

プレミアム商品券販売で得た補助金を航空運賃補助に使えないか

答 十分考えられるが課題も多い

問 プレミアム商品券は地域振興に役立ったとアンケートの結果は出たか。現時点の集計状況は。

答 産業観光課主幹 アンケートの回収と分析は今後の作業となる。

問 購入が伸びず3回売ることになった。「仕事帰りに買

えると良かった」や「スーパーや島内様々な商店、ガソリンスタンド、航空券など使える場所が多い事を知らず、最初は購入を見送った。知っていたら買った」という住民の声を聞いた。販売時間と、使える内容についての広報に工夫が必要だったのではないか。

問 初日の販売が少なかつたので夜間の販売も検討したが、事前に時間を周知しており、混乱を避けるため行わなかった。利用場所は販売店と協力してPRすると良かったと思う。

問 この補助金を観光振興に使った自治体もある。次回このような補助金があったら、航空運賃補助に使うのはどうだろうか。

答 企画財政課主幹 十分考えられるが、島内消費の拡大に繋がる方法や観光業者との連携、補助による一時的な観光客増で終わらないようにするなど、課題も多いと思う。



戦争遺跡の保存を動画で

答  
文化財専門委員に検討してもら



奥山 幸子 議員

◆所要時間 31分

分かりやすい方法で伝えていくには、動画で保存するのが適当と思うが、町の考えは。

**答 教育課長** 歴史を風化させない取り組みは大切であり、文化財専門委員に検討してもらおう。

**問** 戦争を経験した人の体験談も継承していくべきだと考える。

**答** 疎開した方、島に残った方など様々な立場での体験者の経験を継承することも重要と考えるが、具体的な方法は文化財専門委員にお願いする。

**問** 今年には戦後70年にあたり、全国で戦争の記憶をとどめるための様々な催し物が開かれた。八丈島でも、歴史民俗資料館で「八丈島と戦争」というテーマで、戦争遺跡の写真と当時の状況が解説されていた。八丈島の戦争に関する遺跡や資料は他に類をみない貴重なものが多いと言われ、観光資源としても価値が高く、町は次世代に残すために積極的に取り組むべきだと思

**問** それでは専門委員に丸投げだ。課長がまずこの問題をどう考えるかを聞いています。体験談の保存や可視化

についても、容易ではないが方法はあると思う。

**答 教育課長** 実行するとう立場で委員にお願いするのであって、丸投げではない。いずれにしても、難しい課題もあるので人と時間が必要と考える。



歴史民俗資料館の企画展示「八丈島と戦争」

オリンピック・パラリンピック開催に向けた準備を

**答** このチャンスを活かすための組織体制をつくる

**問** オリンピック・パラリンピックを5年後に控え、町として何らかの準備を進め

ていると思うが、まず実現すべきは公共施設の案内を4か国語表記に改めることだ。国際的なイベントに対する対策としてだけではなく、今後の島の観光にとっても欠かせない事業と考える。同時に、障がいのある方や、やがて増えていく高齢者に対しても、バリアフリーのまちづくりは重要だ。

**問** ①公共施設、観光スポットの案内を4か国語表記に  
②公共施設や宿泊施設のバリアフリーの徹底を

**答 総務課長** 大きな経済波及効果が見込まれ、このチャンスを活かすための組織体制をつくる。インバウンドとオリンピック対応を連動させて、来島者の受け入れを考える。ソフト面では、

語学力や案内ガイドの養成も必要でそのための組織化、ハード面では、バリアフリーや英語表記は町内22か所で整備できている。宿泊施設も引き続き進めてい

く。参加国や競技団体に対する事前合宿地の候補地としても東京都に名乗り出た。wi・fiやQRコードの整備も合わせて考える。

**問** 町が色々考えていることは理解できる。組織体制をつくることを強調しているが、4か国語表記についても案内ガイドについても、組織づくりより出来るところから、出来る人から実践に移ってほしい。また、こうした整備に要する予算に対し都の補助金はあ

**答** 国や都の補助金枠はいくつかあり、項目にあった財源を考えていく。

# 第四回定例会の質疑から

## 末吉小学校跡地利用の方向性は

奥山博文議員



語学学校にする話や、合宿での利用を行っているが、運用要綱を作成するべきだ。

**企画財政課長** 先日の自治会でも話したが、宿泊ができる交流研修施設として利用したい。3月に条例を提出したいが、条例を提出してもすぐに宿泊施設としての運用ができるかわからない。ある程度の時期までは同様の形をとる可能性もある。

**山口英治議員** 元々要綱もなく先行してやっていたことと自体がよくない。何か問題があった時責任が取れないと思う。消防長の見解は。

**消防長** 学校施設であったことからハード的には問題

ないが、防火管理者選任、消防計画作成などソフト面の整備が必要である。

**山口英治議員** 条例整備は緊急を要する。早く決断し方向性を出すべきである。

**企画財政課長** 3月中旬に条例を提出し、学生等が入る時期までには形を作る。

【末小の備品管理状況は。管理人雇用に対する考えは。等の質問あり。】

## 伐採木処理の改善策は

**奥山幸子議員** 廃棄物運搬処理委託料1100万円の増額補正の理由と内訳は。

**住民課長** 当初予算で増額を認めていただいたが、廃棄物運搬処理業務委託で2100万円に対し800万円、伐採木処理業務委託850万円に対し300万円増額したい。伐採木は実績に基づき、トン当たり1万5000円で委託業者に支

払っている。廃棄物運搬業務委託が大幅に伸びたのは廃船処理が原因であり、平成26年度からは実際の処理費用との差はあるが、船主の方から一般廃棄物処理手数料を支払っていただいている。

**奥山幸子議員** 伐採木は処理した後、堆肥にするのか。

**住民課長** 委託業者は土地改良材として再利用していると聞いている。町は、菌を植えずに畝を作るだけで、数カ月後には土地改良材となる技術を保有する業者の視察を行った。それを中之郷埋め立て処分場でできないか試行中である。

**奥山幸子議員** 将来的には委託業者に出す量が減るのか。

**住民課長** リサイクルヤードに置かれるリサイクルに適さないものを中之郷埋め立て処分場で処理することはある。

【廃船処理の漁業者負担は他業種と公平に。クリーンセンター移転場所は決定しているのか。発泡トレイリ

サイクル事業の方針は。等の質問あり。】

## 白内障手術は採算が取れているのか

山口英治議員



白内障手術にかかる決算は赤字が見込まれるのか。

**病院事務長** 2カ月に1回約15人の手術を行っているが、医療機器購入の減価償却費を除くと、旅費、人件費を差し引いてもある程度の黒字になる。

【夜間の空調管理方法は。眼科診療時間の延長を。等の質問あり。】

## 定住型住宅の整備を

奥山博文議員 公営住宅法

により、所得基準を超えると使用料が高額になり退去を余儀なくされている。低所得者用ではなく定住型住宅を整備する必要があると考え、地方創生で定住型住宅の制度はないのか。

**建設課主幹** 政府が全国一律であった公営住宅の家賃を、市町村が独自に決めることができるように検討を開始した。

**町長** 町が空き家を購入して改修後、町の施設として貸し出すことを考えたい。

**企画財政課長** 国土交通省のメニューをいかに活用するかになるので知恵を出したい。

【地方創生で民間住宅のリフォーム補助を。町営住宅の共用部分が汚れている。等の質問あり。】

## 発議

有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法の早期成立を求め  
る意見書

提出者…山下崇

賛成者…浅沼憲春、水野佳子  
原案可決



平成27年12月9日（水）開催

# 「航空運賃をともに考えるシンポジウム」を終えて

講師である戸崎先生の減

便という厳しい指摘から始まったシンポジウムは、観客を引き込んだ。オリンピック効果等によるインバウンドの増加で、羽田枠が厳しくなれば、需要の多い路線は増え、需要の少ない路線は減らされる。このままでは八丈路線の減便は明確であり、早急に搭乗率をあげる対策を取らなければならぬ、待っていても運賃は下がらない、その通りである。

航空運賃を下げるには、定住人口や観光客（搭乗率）の増加が必要である。そのためには

- 大学サテライトの誘致や八高に観光科の設立で地域の産業振興を図る。
- 交通政策基本法等の制度の活用のため、働きかけを強化する。
- 空港の活性化のため、八丈島の魅力を全国にセールスする事が必要である。
- 補助金でコンサルタントに頼る発想より、お金をか

けず人的資源を育てる。

○ 留学生や島内在住の外国人を活用して、インバウンドに八丈をSNS等でPRする。

○ 3 便体制を確保するためには、全日空も儲かる提案が必要である。

○ 現状の打開策として、アイデアを広く募り、来島者のニーズに答えなければならぬ。地方空港も航空路線を守るために努力している。八丈も島民一体となつての便数確保と、運賃引き下げのためにも、観光客の増加策に力を入れることが急務である。そのためには活動団体の立ち上げ、観光ビジョンの明確な策定が必要である等の指摘があつた。

× ×  
もつと若者や観光に従事している方々が来て欲しい等々の反省はあるが、航空運賃を考える、一つの機会になったことは確かだ、有意義なシンポジウムであつたと考える。

## アンケート集計結果の考察

○ 来場者の飛行機利用は多く、一定の割引運賃を利用している。

○ 望まれる運賃は、片道運賃が1万円から1万2千円が72・3%（76名中55名）、運賃の利用は割引利用36・6%（90名中33名）、往復割引含むと92・2%（90名中83名）。

アンケートでは、往復運賃を除く割引運賃の内容や利用方法が町民に浸透していないことがわかり、周知が必要と考える。

○ シンポジウムの講師は良かった86・8%（76名中66名）、内容も解りやすかつた85・5%（76名中65名）などと、好評な意見が多かつた。

減便は深刻な問題で、観光客の増加を図るのが急務。明確な観光振興策が求められ、島の自然、歴史、文化の魅力を引き出すプロジェクトでの対応や、大学

の観光部門、スポーツ誘致の推進の意見もある。多くの住民は八丈が置かれている危機的状況を把握しているも、減便とならなければ、危機を実感できないのではないか。

一方で協力や支援を考え

ている方も数多く、来場された方々にとっては、八丈の置かれている現状の把握となり、問題提起ができた。

文責…航空運賃特別委員会  
浅沼憲春  
水野佳子

## 航空運賃特別委員会による調査活動



平成27年11月16日～18日、東京都港湾局、産業労働局、国土交通省航空局、国土政策局、観光庁、全日本空輸株式会社、参議院議員会館に出向き調査を行いました。（全国離島振興協議会で）

## 町ナビ

昨年末にザトウクジラが周辺海域に回遊し、クジラフィーバーに沸いた八丈島。来シーズン以降もクジラが繁殖に訪れば、ホエールウォッチングが新たな島の観光資源になるのではと期待が高まる。1月28日には東京海洋大学大学院・加藤秀弘教授を招いて勉強会も行われた。ちょっと気は早いですが、今後は安全でクジラの繁殖にも悪影響を与えない自主ルールの策定なども課題となりそうだ。



1月28日の勉強会の様子。  
町役場大会議室で



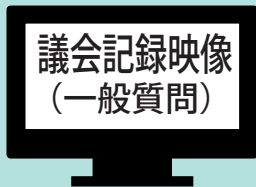
昨年12月20日、藍ヶ江港で  
撮影したクジラ

### 主な議決事項

12月定例会 平成27年12月1、2、3日開催

- 平成27年度八丈町一般会計補正予算  
ほか補正予算6件
- 八丈町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例  
ほか条例改正・制定9件
- 表層浮魚礁資材購入契約
- 平成26年度八丈町一般会計決算認定について  
ほか決算認定5件
- 平成26年度八丈町一般会計継続費精算報告について  
ほか報告1件
- 議員の派遣承認について（全国離島国家予算要望活動）  
ほか議員派遣1件

インターネットで  
一般質問の画像を  
ご覧になれます。



八丈町議会のホームページ  
からアクセスして下さい

## 編集後記

昨年10月15日(木)の午後、議員7人で島内視察をしました。議員は年に1回先進地を視察していますが、八丈島にある町の施設を詳しく見る機会はありませんでした。島の中のこともお知っておくべきだという、議会事務局からの提案で企画されました。今回は「旧末吉小学校」と「大賀郷浄水場」(表紙の写真=上)

を見学しました。担当職員の説明を聞き、前者についてはこれからの活用の仕方をあらためて考え、後者については施設の重要性を再認識しました。これからも、積極的にほかの施設も見学して、議員活動に役立てていきたいと思えます。

奥山幸子

発行人 八丈町議会議長 土屋 博

編集 議会だより編集委員会 委員長 奥山幸子 委員 山本忠志 山下 崇 岩崎由美

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-5575